

# 土持ゲーリー法一先生をお招きし、公開研究授業・ 実践研究報告会・パネルディスカッションを行いました。

## 公開研究授業の様子

平成 29 年 2 月 10 日(金) 5 限目に本校地歴公民科、河野幸夫教諭による公開研究授業を行いました。環境問題に対する各国の取組と国際協力の在り方について、生徒がグループに分かれてこれまで調べてきた内容のまとめを発表し、その発表に対してほかの生徒全員で評価を行いました。



他グループの発表の評価を行う際には、クリッカー（授業で生徒がボタンをクリックして質問に答える機器。生徒がボタンを押すと、その結果が瞬時に集計されます。）を使用しリアルタイムで評価が図示されるので、評価する側の生徒の学習も能動的なものになっていました。



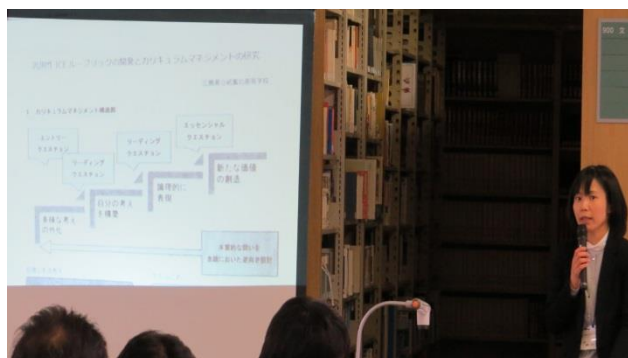
生徒がクリッカーを操作している様子



このように集計結果をリアルタイムで、グラフにすることができます。

## 研究協議会及び実践研究報告会の様子

公開研究授業に続いて、研究協議会と本校の汎用性 I C E ループリック開発と、カリキュラムマネジメントの研究報告会を行いました。多様な業種の方から貴重な御意見をいただき、有意義な研究協議会となりました。



本校では3年間を通して生徒に付ける力について、生徒と教員が共通認識を持つことによって、見通しを持った学びを展開するため、また、教科間で連携して育てる資質・能力について、教科横断的な視野を持つために、カリキュラムマップを作成しています。そのような取組と、研究内容・成果を本校中核教員である国語科、槇野裕子教諭が発表しました。

## パネルディスカッションの様子

7 限目は帝京大学、高等教育開発センター長・教授、土持ゲーリー法一氏をお招きして「高校におけるICEモデルの効果的な活用について」というテーマで、パネルディスカッションを行いました。ICEモデルにおける「I」は一般的には「考え方」や「アイデア」と認識されているが、本質的には何を意味するのか、などICEモデルの意義と活用について、深く考える機会になりました。

